

東のボルゾイ企画製作
新作ミュージカル

彼方が源

KANATA GAHARA

芝居課題

課題は二種類あります。

- 第一希望役が彼方、凱/ママの男、泉君、勇気、のいずれかの方は2ページの課題Aに取り組んで下さい。
- 第一希望役が万里亜、藍沢/ママ、心、のいずれかの方は3ページの課題Bに取り組んでください。

課題A

第一希望役が「彼方」「凱/ママの男」「泉君」「勇気」いずれかの方は、この課題に取り組んで下さい。
①②③全てのセリフを演じ、撮影し、一本の動画としてまとめてください。ト書きは読まなくて結構です。

①

彼方は目をキラキラさせて、男たちに吠えた。吠えれば吠えるほど、つま先が痺れていく。

彼方 わかるか？

不運の溝に落ちた、不憫な人間は、不幸に寄りかかって、不思議とバランスを保つのさ。
膿んだままの傷を睨み続ける。

それが彼女にとって、生きること、そのものになっちまってんだ。

ところが不幸中の幸い、俺にはその天国渴望症が遺伝しなかった！

そんなものはハナからないからさ！！

ママは死ぬまで滑稽だったぜ。

手に入ったかもしれない人生に焦がれ！ありもしねえゼロの国へ！

特急に乗って！

… 行っちゃった。

彼方は目の前の壁の、床とつながる継ぎ目を、じっと見つめた。

②

勇気は凱のこんな表情を初めて見た。余裕がない姿を初めて見た。凱の額を鉛のような汗が這っていく。

凱 お前は闇から現れた。夜は冷たく伸びていく。

お前は言葉の意味を知らなかった。

罪の匂いに誘われて、ずるく交わってしまうから、方法はいつだって一つだけだ。

そうだな、あの星がいい。

そうだな。

そうだな。

③

車の鍵をジャリジャリといじると、泉君は意を決した。いや、制御が効かなくなった。

店に響き渡る泉君の上ずった声が、明け方に変なリズムで鳴く鳥の声に似ていて、万里亜はムカついた。

泉君 大切な人を大切にしなかったら、過去の僕も未来の僕も、きっと僕を許せない！

この、自己肯定が正義の時代に、ああ！僕は僕を許せない！！

でも万里亜ちゃん、君のことだけはいつだって許せる、

君が客の時計を盗んでいるのを知ってる、客に変なあだ名つけてるのも知ってる。

僕が君を知ってる。

この知ったかぶりがのさばる時代に、僕は本当に、君を知ってる。

課題B

第一希望役が「万里亜」「藍沢/ママ」「心」いずれかの方は、この課題に取り組んで下さい。

①②③全てのセリフを演じ、撮影し、一本の動画としてまとめてください。ト書きは読まなくて結構です。

①

万里亜は客にいつもする質問を、彼方に投げかけた。

答えようとする彼方を制して、嬉しそうに持論をベラベラと喋った。

万里亜 その傷どうしたの？

…嘘ついてもいいのよ。

大事なのは、答えの中身じゃないから。

ほとんどが突き詰めれば同じような答えだもの。

人は皆死ぬとか。朝日は綺麗とか。出来たては美味しいとか。

重要なのはね、どう答えるか。

そこに宿るわ。あなたが。

得意げな万里亜を見て、彼方は息を深く吸い込んだ。

このくそいけ好かないくそ女をどうしてくれようかと思った。

②

ママはサテンのキャミソールに着替えて、彼方を虚ろな目で見つめた。

何十回としてきた話をまた始める気だ。

ママ 私、小さな地球の小さな町の小さな店の小さな棚にあるティーン誌の広告モデルだった。

そう、そう、価値があった。

この脚にこの髪に、価値があったから私、頑張ってた。

…頑張らなくなった私、どう？

君に私、どう見えてるの？

③

万里亜がほじくり返した、彼方の傷という傷を目の前にして、心は悲鳴をあげた。

心 典型的ー！ どうしてそんなに典型的なのお！

それはアグリッピーナ・コンプレックスというもので、サンプルとして最高に完全体！

いや、しかしあなたはラッキーだ、

男だから！

女は母を殺せないです。大体の女が、母の言葉を生きているので。

でも男は殺せる！ やったー！ 親を殺せます！ そうやって男になっていきます！